DELCATEC

取扱説明書

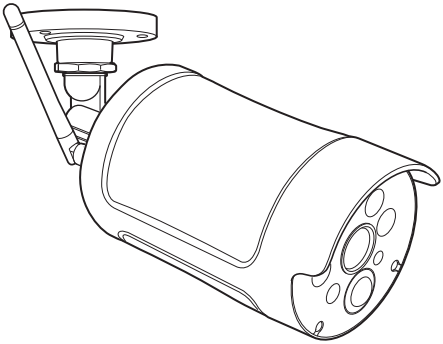
このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

Full Hi-Vision

保証書付

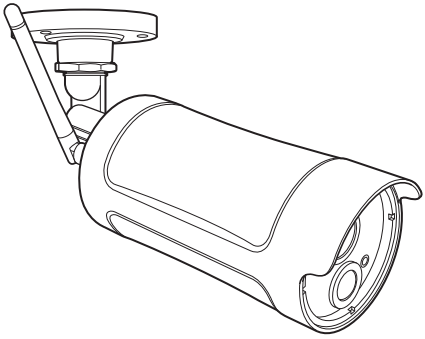
増設用センサーライト付 ワイヤレスフル HD カメラ

WSS1C



増設用 ワイヤレスフル HD カメラ

WSS2C



本製品は「WSS シリーズのモニターセットまたはスマート受信 BOX」専用の増設用カメラです。

※本製品単体ではお使いになれません。
※WSS シリーズのモニターセットには、増設用カメラを 3 台まで登録できます。
※増設用センサーライト付ワイヤレスフル HD カメラ（WSS1C）と増設用ワイヤレスフル HD カメラ（WSS2C）は併用して使用することができます。
※スマート受信 BOX には、増設用カメラを 4 台まで登録できます。
※当社製品「WSC シリーズのモニターセット」や、その他の製品では使用できません。
※WSS2C は、WSS シリーズの液晶モニターと本製品間で音声の通話はできません。
※WSS2C は、センサーライトの機能はありません。

- この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巣、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
使用上のお願い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
必ずお読みください.....7
使用上のご注意.....7
設置のご注意.....7
防水性能について.....7
無線電波についてのご注意.....8
モーション検知について.....8
セット内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

準備／設置

映像を確認する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
カメラを準備する.....12
本製品を液晶モニターに登録する ・・・・・・・・・ 13
設置する前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
カメラ設置の注意点.....15
電波到達距離について.....15
モーション検知について.....16
カメラ設置の確認事項.....18
カメラを設置する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
カメラの寸法を確認して設置場所を決める.....19
カメラを設置する.....20

カメラ設定

本製品を液晶モニターで表示する ・・・・・・・・・ 24

その他

メンテナンス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
お手入れおよびメンテナンス時のご注意.....25
故障と判断する前に.....25
仕　様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
無線通信部.....26
カメラ.....26
外形寸法図.....28
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

本書ではカメラを WSS1C、液晶モニターを WSS10M1C を主に説明しています。
WSS7M2C またはスマート受信 BOX をご使用の場合は、WSS7M2C またはスマート受信 BOX の取扱説明書もあわせてご確認ください。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

警告	この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般的な注意事項	水ぬれ禁止	接触禁止	指示を守る
一般的な禁止事項	分解禁止	ぬれ手禁止	プラグを抜く

警告

指定の電源で使用する

- **必ず付属の専用 AC アダプターを使用する。**
  他の機器の AC アダプターなどを使用すると火災や感電の原因となります。
- **付属の専用 AC アダプターは AC100V（50/60Hz）コンセントを使用する。**
  100V 以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。

ケーブルに無理な力を加えたり、傷つけたりしない

- **ケーブル類は、傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものを載せる、加熱する（熱器具に近づける）、引っぱるなどをしない。**
  電源ケーブルなどが傷んだときは（芯線の露出、断線など）、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。

通風孔をふさいだり、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない

火災や感電の原因となります。

結露した状態で使用しない

故障の原因となります。
電源を切り、結露がとれたあとで、電源を供給し直してください。

ぬれた手でさわらない

感電の原因となります。

雷が鳴り出したら本体やコードに触れない

感電の原因となります。

分解、改造、修理はしない
また、ライト部に可燃物製のフードや囲いなどをつけない（WSS1C のみ）

感電・火災・故障の原因となります。
故障した場合は、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに修理を依頼してください。

点灯しているライトを直接見ない（WSS1C のみ）

視力障害の原因となります。

ライトが点灯中、また消灯後もしばらくの間は、絶対に素手で触れない（WSS1C のみ）

ライト部は熱くなっていますので、やけどの原因となります。

⚠警告

スピーカーを耳にあてない（WSS1C のみ）
難聴などの原因となります。

お手入れは、AC アダプターをコンセントから抜き、ライトの温度が十分下がったあとで行う
感電ややけどの原因となります。

異常があるときは、すぐに使用を中止する
次のような異常時は、AC アダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。
- 煙がでる、変な臭いがする
- 内部に水や昆虫、物が入った
- 異音が鳴る
- AC アダプターのコードや本体の外部が破損、劣化している

火災、感電、けが、故障の原因となります。

長期間使用しないときは、安全のため必ず AC アダプターを AC コンセントから抜く
火災の原因となります。

AC アダプターは、風通しの悪い場所で使用しない
風通しを悪くすると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
- 押入れ、本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする
- 布や布団でおおったり、包んだりする

乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない
乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

AC アダプターに水をかけたり、濡らしたりしない。また、AC アダプターの上に水や薬品の入った容器を置かない
水や薬品が中に入った場合、火災や感電の原因となります。また、ペットなどの動物が AC アダプターの上に載らないように注意してください。尿や糞が中に入った場合、火災や感電の原因となります。

本製品は AC コンセントの近くに置く
AC アダプターが容易に取り外しできるようにしてください。

AC アダプターは、AC コンセントに根元までしっかりと差し込む
すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、AC アダプターは定期的に AC コンセントから抜いて掃除してください。

万一、AC アダプターを落としたり、破損したりした場合、AC アダプターを AC コンセントから抜いて販売店に連絡する
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

AC アダプターを AC コンセントから抜くときは、コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ず AC アダプター本体を持って抜いてください。

本製品を移動する場合、必ず AC アダプターを AC コンセントから抜く
コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。

本製品にホースなどで直接水をかけない
火災や感電の原因となります。

⚠警告

電源（AC100V）を入れたまま配線工事をしない
火災や感電の原因となります。

雷のときは配線工事をしない
感電の原因となります。

雷の発生が予想されるときは、前もって、AC アダプターを AC コンセントから抜く
落雷によって、火災の原因となることがあります。

次の場所に設置しない
- **強度の不足する場所、不安定な場所**
  落下や転倒によるけがの原因となります。
- **継続的に振動が発生する場所（工事現場など）**
  落下や転倒によるけがの原因となります。
- **人や車両の通行の妨げになる場所**
  ぶつかったり、接触したりして、けがや破損の原因となります。
- **直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所**
  火災や感電、故障の原因となります。
- **浴室やシャワー室、プールなどの湿気の多い所**
  湿気や湯気による故障の原因となります。
- **塩害や腐食性ガスが発生する場所**
  取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- **可燃性ガスの雰囲気中**
  爆発によるけがの原因となります。
- **可燃物のそば**
  - わらぶき屋根の軒下
  - ベランダなど、洗濯物や布団などがカメラに触れる場所
  - 風により可燃物が飛んできてカメラを覆う恐れのある場所

  火災の原因となります。

設置、点検時は次のことに注意する
- **設置や配線、点検時は電源を切ってから作業する。**
  感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- **足場と安全を確保し、強風、雨、嵐、雪、霧などの天候が悪い日や暗い所では、危険なので設置工事や点検をしない。**
  落下や転倒によるけがの原因となります。
- **本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。**
  けがや故障の原因となります。
- **ケーブル類は正しく配置する。**
  引っ掛けると落下や転倒によるけが、故障の原因となります。
- **組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）指定がある場合は、その力（トルク）で締め付け、確実に固定する。**
  落下によるけがの原因となります。
- **台風のあとや積雪のあとなどは、取り付けに緩みや異常が生じることがあるので注意する。**
  点検はお買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのままにすると破損して、けがや故障の原因となります。
- **取り付けたカメラにぶら下がったり、無理な力を加えたりしない。**
  落下による破損、けがの原因となります。

電源工事が必要な場合は、電気工事が行えるお買い上げの販売店または工事店に依頼する
電気工事士の資格がない場合、電気工事をすることは、法律で禁止されています。

⚠警告

次のような場所や条件では、人体や医療機器などに影響を与える場合があるため、取り付けない。
- 病院など特定の電波の使用を禁止された区域
- 医療用電気機器の近く（手術室、集中治療室など）
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- 心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置

誤動作による事故の原因となります。

本製品を壁面に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける
不安定な場所、振動の多い場所、強度の弱い壁（石膏ボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、ベニア板など）には取り付けないでください。落下により、けがの原因となります。

土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない
絶縁劣化により、感電の原因となることがあります。

土中埋設する場合、ケーブルや配線材などは、電線管などを使用して防水処理をする
感電の原因となることがあります。

取り付け後、確実に固定されているか、またときどきぐらつきがないかを確かめる
固定が不十分な場合、落下によるけがや感電、故障の原因となります。

屋外コンセントは、防水ケースを使用する
AC アダプターは防水仕様ではありません。漏電や感電の原因となります。

コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する
ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

⚠注意

距離が離れている場合、300m 以内でも間に次の障害物が存在する場合など、環境によって電波が弱くなりブツブツ音や通話の途切れが発生する
- 障害物
  - 金属製のドアや雨戸
  - 複層ガラスの窓
  - アルミ箔入りの断熱材が入った壁
  - 壁を何枚も隔てたところ
  - コンクリートやトタン製の壁
- 環境
  - テレビ、携帯電話などの無線局が近くにある場合
  - テレビ、ラジオ、パソコン、FAX、送信機など電波を発生している家電製品やその他の OA 機器が近くにある場所
  - カメラ、液晶モニターをそれぞれ別の階や家屋などで使うとき

お手入れの注意
ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。
溶けたり、変形や変色の原因となります。

定期的に点検する
取り付けが緩んだり、取付用ネジやネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。

使用上のお願い

必ずお読みください

本製品を設置する前に、必ず動作確認を行ってください。

① カメラの電源を入れてから、カメラと液晶モニターを近づけてペアリング(登録)し、移動できる場所でカメラの映像が液晶モニターの画面に表示されることを確認してください。(➡ 13、24 ページ)

② 設置場所近くの環境でもカメラの映像が液晶モニターの画面に表示されることを確認してください。

重要 **設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響によって電波が減衰するなど、正常に動作しないことがあります。**

使用上のご注意

- 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
- 本製品のスピーカーに雨などがかかったときは、一時的に通話ができなくなることがありますが、故障ではありません。スピーカーを乾燥させると通常に通話ができます。
- 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 周囲温度 0℃以下で使用した場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- カメラのレンズやセンサーには、直接手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭取ってください。

設置のご注意

- 本製品を設置するときは、カメラ同士を 5 m以上の間隔をあけて設置してください。
- カメラをセンサーライトの近くに設置しないでください。誤動作することがあります。
- カメラは、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。

防水性能について

- 本製品のカメラには、JIS 保護等級 IP66（耐塵・耐水性）相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障するおそれがあります。
  スピーカーが水に濡れたときは、一時的に通話ができなくなる場合があります。乾燥させると通常に通話ができますので、品質には影響ございません。
  なお、AC アダプターには防水性能がありません。
- 本製品は気密性が高いため、夏場の車内など、高温環境から常温環境に設置する場合など、急激な温度変化があった場合、一時的にカメラやセンサー部などの内部が結露する場合があります。しばらくすると解消し、品質には影響ございません。

無線電波についてのご注意

本製品の電波周波数帯は 2.4GHz です。この周波数帯は、医療機器・電子レンジなどの産業・科学機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 電子レンジ、デジタルコードレス電話、その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器（無線 LAN、Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機器など）の近くで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
- 本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と他の無線局との間で有害な電波干渉が発生した場合は、速やかに本製品の使用場所を変更するか、使用を停止してください。

本製品の無線の電波について

2.4 FH 8

2.4	：2.4GHz 帯を使用周波数帯とする無線設備を示します。
FH	：FH方式（周波数ホッピング方式）変調であることを示します。
8	：想定される干渉距離が 80m 以下を示します。
▬▬▬	：使用周波数帯の全帯域を使用し、他で運用されている周波数帯の回避が可能なことを示します。

- 本製品は、電波法に基づく工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造することは電波法で禁止されています。また、本製品に貼り付けてある認証ラベルをはがしたり、改ざんなどは行わないでください。

不明点やその他お困りのときは、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターまでお問合わせください。

モーション検知について

モーションセンサー（➡ 16 ページ）が検知することによって動作します。
次の場合は、動体（人や動物）がいなくても検知する、または動体（人や動物）がいても検知しないことがあります。故障ではありません。

動体（人や動物）がいなくても検知する

- カーテン、炊飯器や電気ポットなどの蒸気を検知している
- カメラの前に動くものがある
- 直射日光などの強い光が当たる
- 不安定な場所に設置している
- エアコンの風が直接当たる

動体（人や動物）がいても検知しない

- カメラの前に障害物がある。
- カメラの周囲温度が高い。

モーション検知の特性

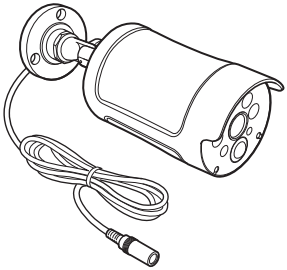
モーションセンサーを横切る動きは検知しやすく、センサーの真下を通る動きや正面から近づく動きは検知しにくくなります。

セット内容

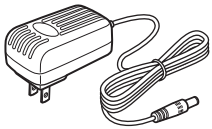
本製品には次のものが入っています。すべてが揃っているかを確認してください。

重要 必ず付属の AC アダプターを使用してください。

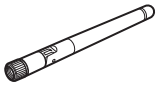
●WSS1C



カメラ：1 台
コード長約 2.8m



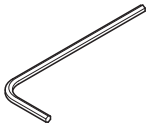
カメラ用 AC アダプター：1 個
コード長約 1.8m
型番：CS18D090200FJF



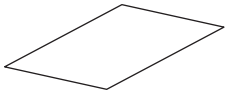
アンテナ：
1 本

コンクリート
アンカー：3 本

カメラ取付用ネジ：
3 本

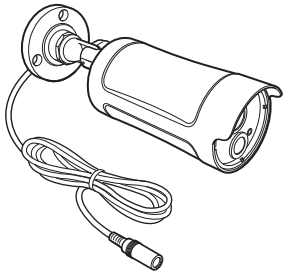


六角レンチ：
1 本

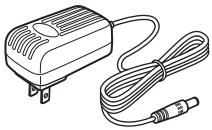


取扱説明書：
1 冊

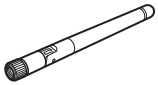
●WSS2C



カメラ：1 台
コード長約 2.8m



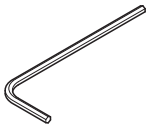
カメラ用 AC アダプター：1 個
コード長約 1.8m
型番：CS12N090080FJF



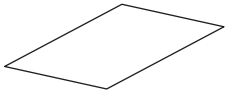
アンテナ：
1 本

コンクリート
アンカー：3 本

カメラ取付用ネジ：
3 本



六角レンチ：
1 本

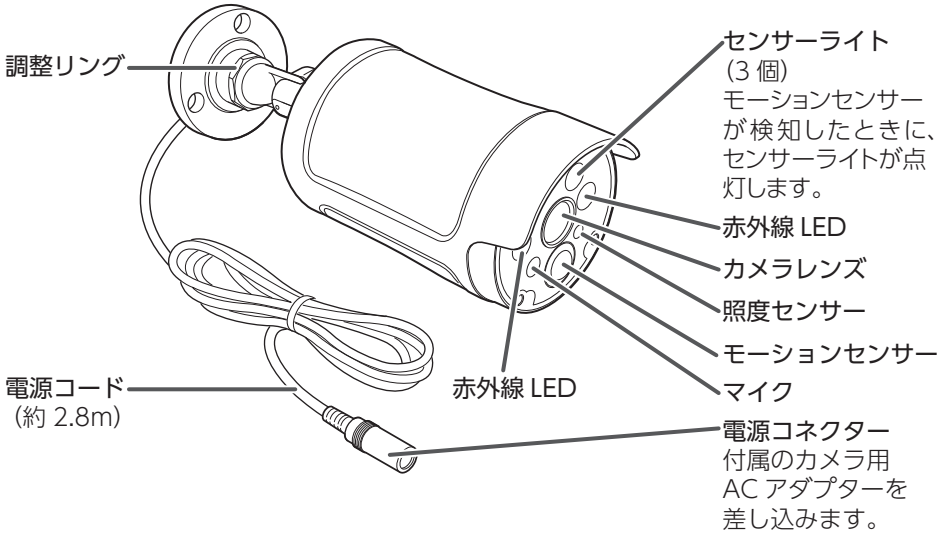


取扱説明書：
1 冊

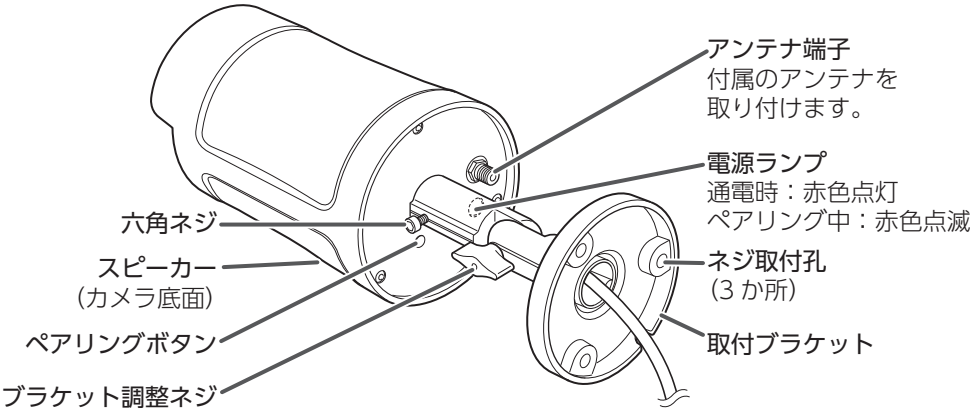
各部の名称

●WSS1C

正面

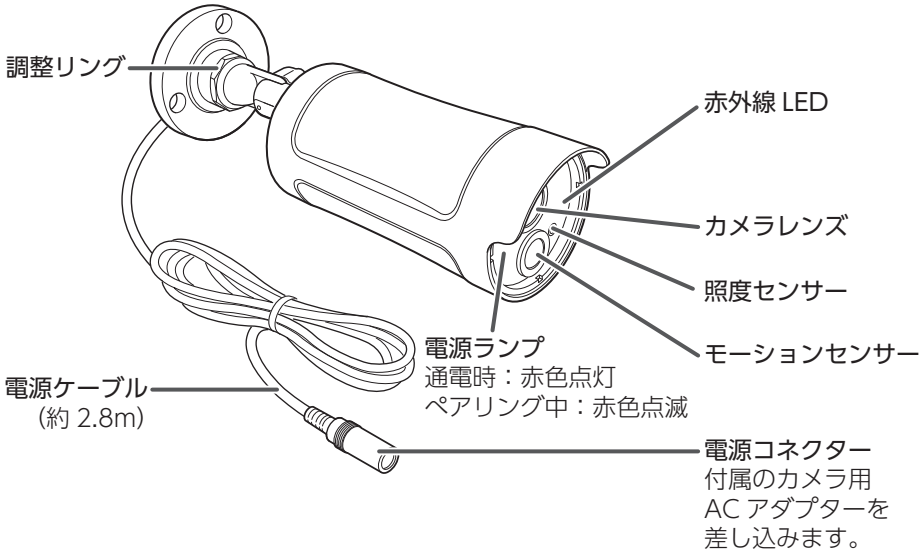


背面

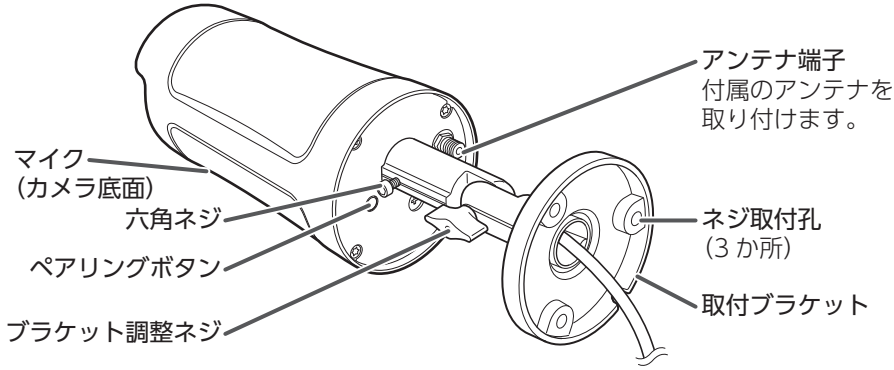


●WSS2C

正面


調整リング
赤外線 LED
カメラレンズ
照度センサー
モーションセンサー
電源ランプ
通電時：赤色点灯
ペアリング中：赤色点滅
電源ケーブル
（約 2.8m）
電源コネクター
付属のカメラ用
AC アダプターを
差し込みます。

背面


アンテナ端子
付属のアンテナを
取り付けます。
マイク
（カメラ底面）
六角ネジ
ペアリングボタン
ブラケット調整ネジ
ネジ取付孔
（3 か所）
取付ブラケット

映像を確認する

設置する前に映像が映ることを確認してください。

重要 映像が映ることを確認する前に、必ずカメラをペアリング（登録）してください。
「本製品を液晶モニターに登録する」（➡ 13 ページ）

⚠注意

必ず付属の専用 AC アダプターを使用する
他の機器の AC アダプターを使用すると、故障や感電などの原因となります。

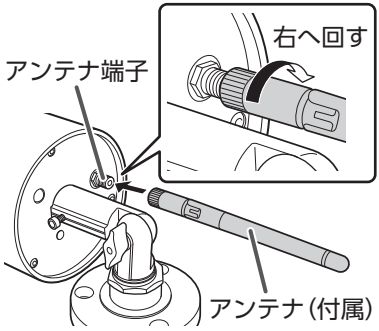
重要
- AC アダプターは防水（防滴）仕様ではありません。水に濡れない場所で使用してください。
- カメラの電源コネクターは防水（防滴）仕様ではありません。コネクター部が屋外になる場合は、必ず市販の自己融着テープなどを使用し、防水処理を施してください。
- AC アダプターは必ず奥まで確実に差し込んでください。

カメラを準備する

1 カメラ背面のアンテナ端子に付属のアンテナを取り付ける

アンテナ端子に付属のアンテナを差し込み、右に回します。

重要
- アンテナは無理に曲げないでください。破損することがあります。
- アンテナを取り付けていないと、液晶モニターで映像を見ることができません。
- アンテナ端子にしっかりと締め付けてください。
- スパナなどの工具を使用して締め付けないでください。

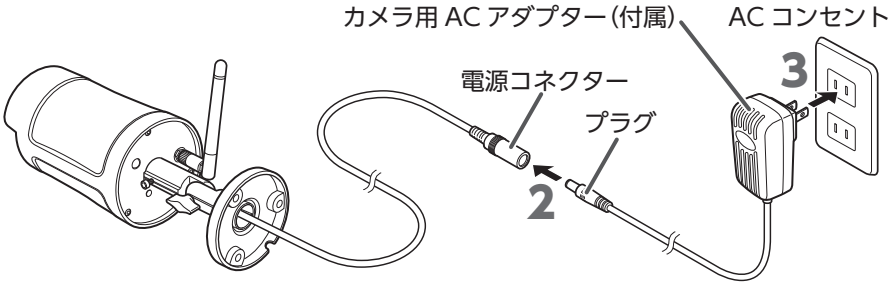


（イラスト：WSS1C）

2 カメラの電源コネクターに付属のカメラ用 AC アダプターのプラグを差し込む

3 AC コンセントにカメラ用 AC アダプターを差し込む

電源ランプ（WSS1C：背面、WSS2C：前面）が赤色に点灯します。
センサーライトが点灯したときは、自動で消灯するまでカメラを約 1 分間動かさないでください。



（イラスト：WSS1C）　（コード長：約 2.8m）　（コード長：約 1.8m）

本製品を液晶モニターに登録する

本製品と WSS シリーズのモニターセットまたはスマート受信 BOX をペアリング（登録）します。（最大 4 台まで）

重要
- 本製品は、必ずペアリング（登録）を実施してください。またペアリング（登録）するときは、カメラと液晶モニターを近づけた状態で実施してください。
- スマート受信 BOX をご使用になるときは、スマート受信 BOX の取扱説明書をご確認ください。

1 本製品の電源を入れる（➡ 12 ページ）

2 液晶モニターの（メニューボタン）をタップする

メニュー画面が表示されます。

（イラスト：WSS10M1C）

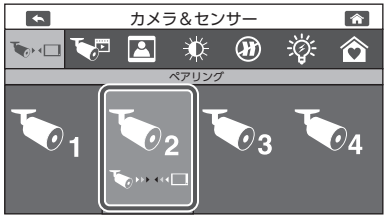
3「カメラ & センサー」をタップする

カメラ設定画面が表示されます。

4（ペアリング）をタップする

5 登録するカメラ番号（1 ～ 4）をタップする

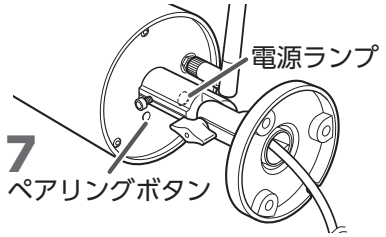
6 ☐が表示される



重要 すでにペアリング（登録）されているカメラ番号をタップして再度ペアリング（登録）すると、カメラ番号のペアリング（登録）が上書き登録されます。

7 30 秒以内にカメラのペアリングボタンを押す

カメラの電源ランプが赤色点滅を開始します。



（イラスト：WSS1C）

8 ペアリング（登録）が成功すると、カメラ映像画面に戻り、登録したカメラの映像が表示される

☐を表示中にペアリング（登録）ができなかったときは、 × ☐が表示されます。再度、ペアリング（登録）をやり直してください。

設置する前に

カメラ設置の注意点

- 他の機器からの温度変化や強い振動、電気ノイズの影響を受ける場所に設置すると、誤動作する原因となります。
- カメラを設置場所に固定する前に、仮設置の状態でもう一度映像が液晶モニターに表示されるか、液晶モニターの電波強度が 3 本以上になっていることを確認してください。その際、カメラの取付方向や撮影範囲も併せて確認してください。
- 設置の際は、直射日光や街灯などの光が直接当たって高温になることを避けるため、またレンズへの雨水付着を防ぐため、軒下などに設置することをお勧めします。
- 周辺に 2.4GHz 帯の電波を発生させる機器（ルーターやコードレスホンなど）がある場合、誤動作を起こすことがありますので、離してください。

カメラを設置するときは、電波到達距離やモーション検知範囲に注意して取り付けてください。詳細は、下記の「電波到達距離について」および「モーション検知について」（➡16 ページ）を確認してください。

電波到達距離について

屋外にカメラ、屋内に液晶モニターを設置する場合は、構造によって電波到達距離が変わります。木造、鉄骨、鉄筋コンクリートの各構造での目安は、次のとおりです。

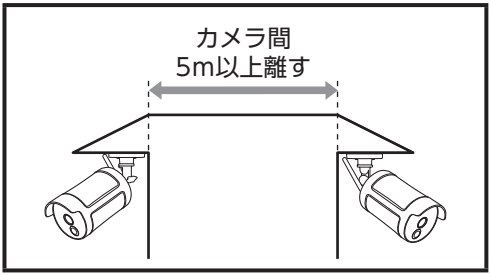
木造	鉄骨	鉄筋コンクリート
約 20 ～ 40m	約 10 ～ 20m	約 5 ～ 10m

液晶モニターの電波強度が 3 本以上になっていることを確認してください。

設置環境によって電波到達距離が極端に短くなる場合があります。また、電波が届かない場合や映像が途切れる場合は、アンテナの角度を調整するか、液晶モニターの位置を移動することで、改善する場合があります。

カメラの距離について

隣接するカメラ同士は、カメラ間の電波干渉を防止するため、設置距離を 5 m以上離してください。



カメラ間の距離 5m の途中に、ルーターなどの無線 LAN 機器がある場合は、電波が安定しない場合があります。無線 LAN 機器からも離してください。

モーション検知について

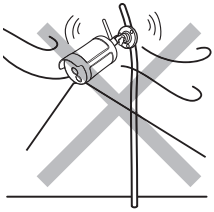
設置場所によっては、誤動作などの原因となりますので、下記に気を付けて設置場所を検討してください。設置前に設置したい場所に仮固定し、事前に確認してください。

検知しない	取付場所を変更してください

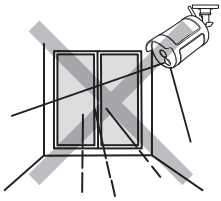
検知エリア内に障害物がある（植木、ガラスなど）　※点線部は検知しません。

誤動作する	センサーが誤動作する恐れがあります。次のような場合は、取付場所またはカメラの向きを変更してください。

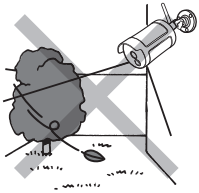
不安定なポールや壁面に取付（検知エリアが定まらない）



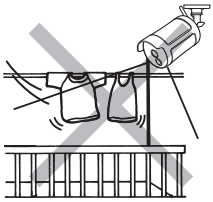
検知エリアが窓に向いている



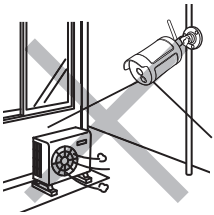
検知エリアが木に向いている（風で木が揺れるため）



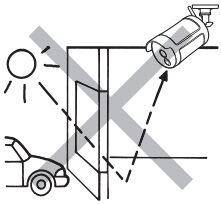
検知エリア内に洗濯物がある（風で洗濯物が揺れるため）



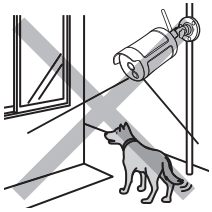
検知エリア内で急激な温度変化がある（エアコンの室外機、水、湯気、油、すきま風など）



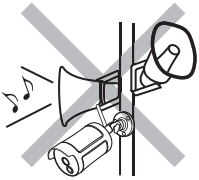
直射光、反射光が当たる（太陽の反射光、夜間の自動車のヘッドライト、街路灯など）



検知エリア内に動くものがある（カーテン、猫、犬、自動車など）



強い振動、電気ノイズの影響を受けやすい



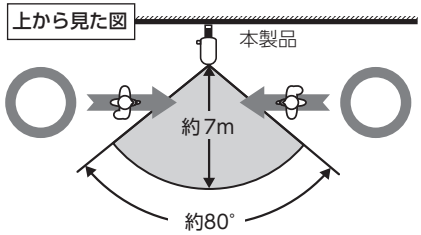
●モーションセンサーの反応範囲

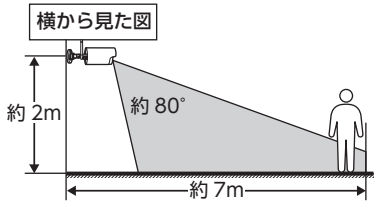
モーションセンサーは PIR（パッシブインフラレッド）方式の赤外線センサー周囲の温度変化を検知する機能です。

- カメラのモーションセンサー（PIR センサー）の検知範囲（距離：最大約 7 m、検知角：80 度）で動体や熱の動きがあった場合、録画を開始します。
- センサーの真下は検知しにくいことがあります。
- センサーの特性上、上下左右方向の動きを検知しやすい特徴があり、センサーに対して人が正面から近づく動きやモーション検知範囲の温度変化が小さい場合は、検知しにくい場合があります。
- センサーは熱の変化に反応するため、熱くなる場所などへの設置は避けてください。
- 周囲の温度と人体の温度差を検知するために、室温と体温の差が少ない場合や服装によって検知範囲は異なります。また、犬や猫などの動物、直射日光、エアコンやポットなどの熱源に対して、検知する場合があります。モーションセンサーが検知すると、センサーライトが点灯します。
- カメラの向きを真横から下の図（横から見た図）よりも低い位置などに設置した場合には、検知エリアが手前になります。センサーの反応範囲とカメラの映像を見ながら設置する角度の確認をお願いします。

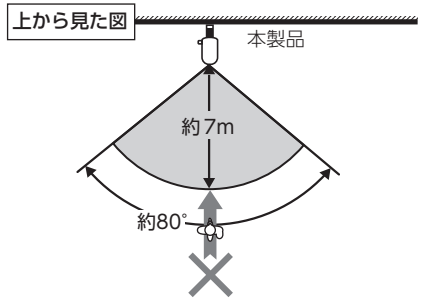
■上から見た図（2 mの高さに設置した場合）

●横切るように侵入する場合





●正面から近づく（検知距離が極端に短くなります）



重要

- モーションセンサーの前に物を置いたり、検知範囲内に鏡などの反射物があると正常に動作しない場合があります。
- センサーは、向けている壁、地面とその間を通る人や車などの動体との温度差を検知します。このため、検知エリア内に動くものがあったり、急激な温度変化をひきおこす要因があると感度が極端に鈍くなったり、誤動作する原因となります。

カメラ設置の確認事項

電波受信状況が安定しない状態

- 液晶モニターに表示されている電波強度アイコンが 0 ～ 1 本しかない

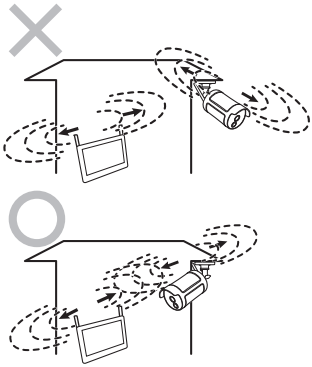
カメラの向きやアンテナの角度を変えることで、電波受信状況が改善する場合があります。

電波受信状況は、電波強度アイコンが 3 本以上あることを確認してください

設置する場所付近で無線 LAN など、2.4GHz 帯を利用する機器（ルーター、コードレスホンなど）を使用している場合も、電波受信状況が悪化することがあります。無線 LAN などの機器から離して設置する、または周波数の異なるルーターを使用してください。またはご使用しているルーターの設定などを変更してください。

電波強度アイコンが 3 本以上ないときは、カメラを移動して電波受信状況が改善する場所をさがしてください。カメラを移動できないときは、液晶モニターを移動しながら電波受信状況が改善する場所をさがしてください。

電波強度アイコン



カメラを設置する

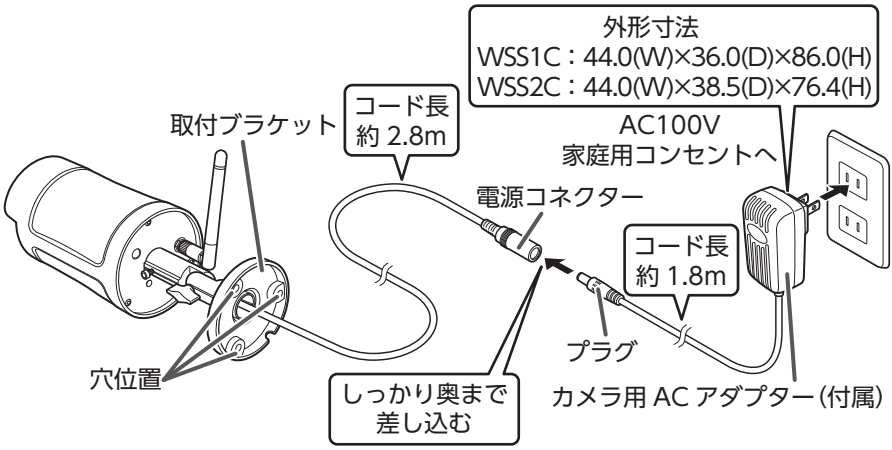
カメラの寸法を確認して設置場所を決める

カメラを固定する前に、「設置する前に」（➡ 15 ページ）を必ず確認してください。

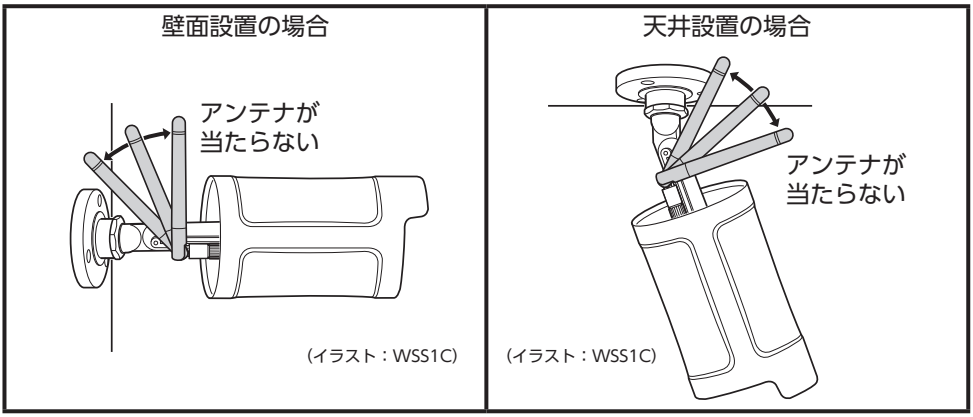
設置場所で事前に液晶モニターに映像が表示されることを確認してください。

重要 カメラの周囲が暗い場合、照度センサーが働き、自動で夜間撮影モードに切り替わります。（映像は白黒になります。）周囲が明るくなると夜間撮影モードは自動で終了します。

取り付ける場所が決まったら、取付ブラケットの穴位置（3 ヶ所）に合わせてペンなどでマーキングしておきます。



外形寸法からアンテナの高さを考慮し、アンテナが壁や天井に当たらないように設置してください。



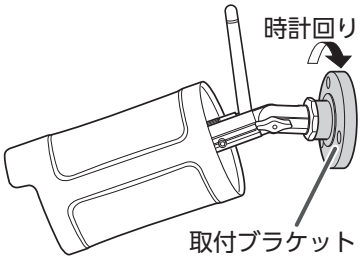
重要 石膏ボードに設置する場合は、必ず内側の梁がある個所にネジがかかるように設置してください。

カメラを設置する

必要に応じて調整リング、六角ネジ、ブラケット調節ネジを緩めて、カメラの角度と方向を調整します。

1 カメラの各部を緩める

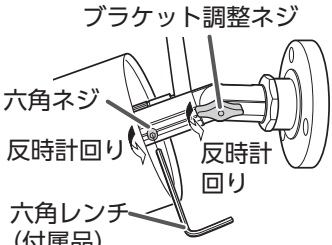
① 取付ブラケットを時計回りに 1 ～ 2 回程度回して緩める



（イラスト：WSS1C）

② 六角ネジとブラケット調整ネジをいったん反時計回りに回して緩める

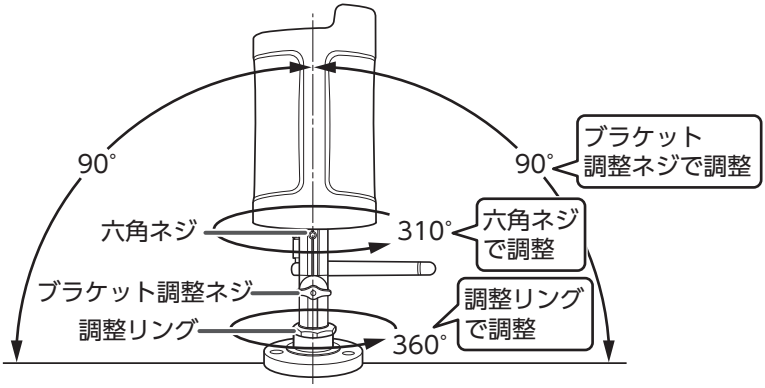
六角ネジは六角レンチで緩めて仮固定してください。
ブラケット調整ネジは手で緩めてください。



（イラスト：WSS1C）

重要

- ペンチやドライバーなどの工具は使用しないでください。破損する恐れがあります。
- カメラの可動範囲は次のとおりです。可動範囲以上に曲げないでください。カメラが破損する恐れがあります。



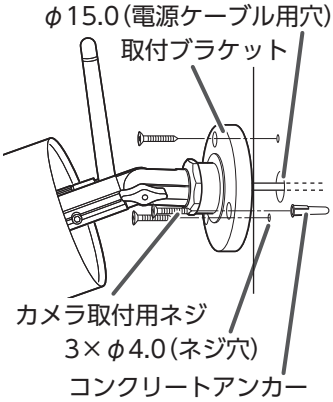
（イラスト：WSS1C）

2 取付ブラケットを設置面に固定する

付属のカメラ取付用ネジ 3 本で取付ブラケットを設置面にしっかりと固定します。

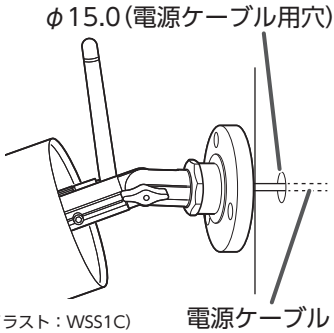
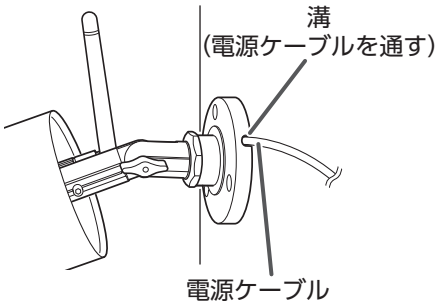
重要 カメラ取付用ネジは強く締めすぎないでください。

コンクリート面に設置する場合、あらかじめ設置場所にφ 6.4mm 程度の穴を開け、付属のコンクリートアンカーを打ち込んでから、カメラ取付用ネジで固定してください。

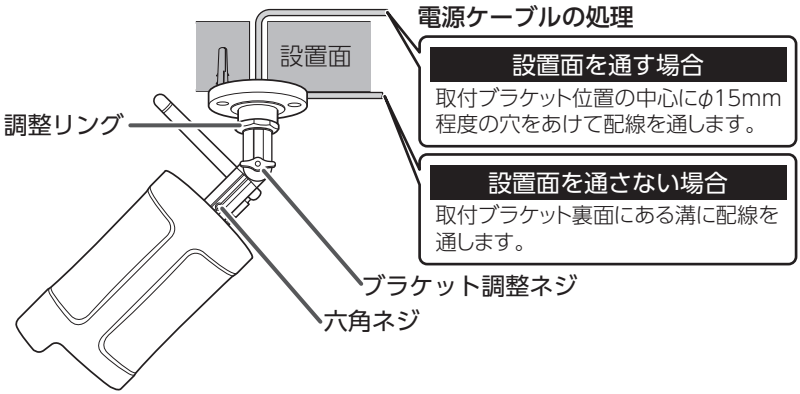


（イラスト：WSS1C）

電源ケーブルの処理について

• 設置面を通す場合	• 設置面を通さない場合
ブラケット位置の中心にφ 15mm 程度の穴をあけて配線を通します。	ブラケット裏面にある溝（1 か所）に配線を通します。
 （イラスト：WSS1C）	 （イラスト：WSS1C）

3 カメラ用 AC アダプターを接続し、液晶モニターで映像を確認しながら最適なカメラの角度と方向を調整する

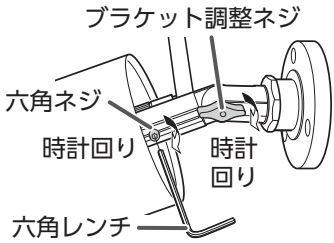


（イラスト：WSS1C）

4 六角ネジとブラケット調整ネジを回して固定する

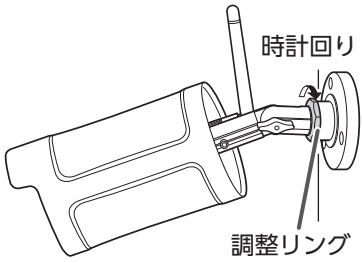
六角ネジは六角レンチで締め付けてください。
ブラケット調整ネジは手でしっかりと締め付けてください。

重要
- 六角ネジを締めるときは、六角ネジを奥まで差し込んで、締め付けてください。
- ペンチやドライバーなどの工具は使用しないでください。破損する恐れがあります。



（イラスト：WSS1C）

5 カメラが動かないようにして、調整リングのみを時計回りに回して固定する



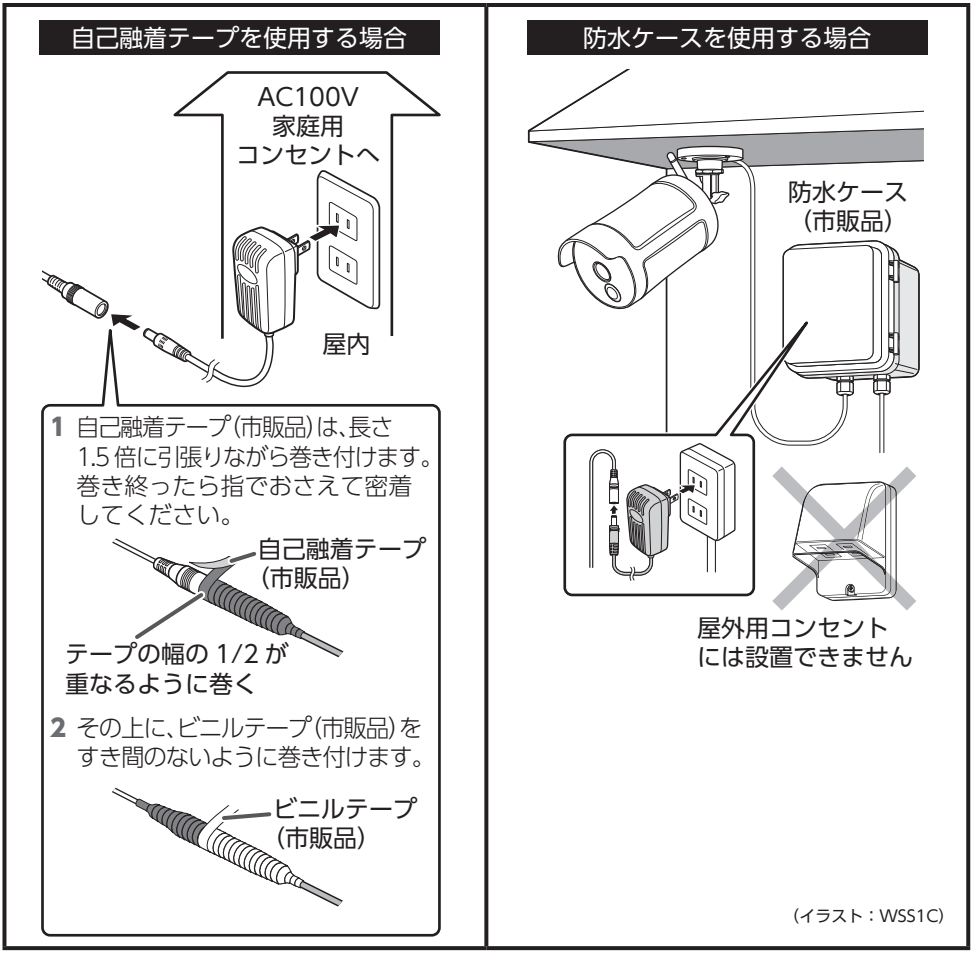
（イラスト：WSS1C）

6 カメラ設置後の映像と電波強度を確認する

カメラを設置したあとは、映像が表示されることおよび液晶モニターの電波強度アイコンが 3 本以上（ 、 ）になっていることを確認してください。
電波強度アイコンが表示されていない、または 3 本以上になっていない（ 、 ）ときは、「設置する前に」（➡ 15 ページ）で設置状況を確認してください。

●防水処理について

屋外に設置する場合は、必ず自己融着テープまたは防水ケースを使用して、防水処理を行ってください。



本製品を液晶モニターで表示する

本製品をペアリング(登録)したときに、表示するカメラを選択します。

1 液晶モニターの（メニューボタン）をタップする

メニュー画面が表示されます。

（イラスト：WSS10M1C）

2 「カメラ & センサー」をタップする

カメラ設定画面が表示されます。

3 (カメラ選択)をタップする

カメラ選択設定が表示されます。

4 液晶モニターに表示するカメラのカメラ番号（1 ～ 4）をタップする

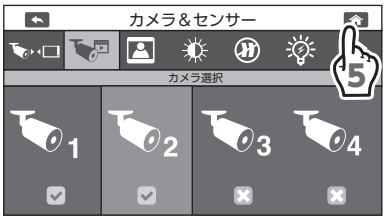
タップするたびに✔と✖が切り替わります。

✔：液晶モニターに表示する
　ペアリングすると自動で✔になります。

✖：液晶モニターに表示しない

5 (ホーム)をタップする

カメラ映像画面に戻ります。



6 登録した番号のカメラに切り替えて映像が出力されていることを確認する

メンテナンス

お手入れおよびメンテナンス時のご注意

- 本製品や本製品の付属品は、お子様の手が届かない場所に保管してください。
- カメラの性能に悪い影響があるため、カメラのレンズ表面に指紋や汚れを付けないでください。また、手でレンズ表面を触らないでください。
- レンズが汚れた場合は、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 本製品を分解しないでください。故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。
- AC アダプターは、必ず付属の専用 AC アダプターを使用してください。

故障と判断する前に

症状	確認内容
カメラの映像が表示されない	液晶モニターに表示するカメラ番号に✕が入っていませんか？
	カメラの AC アダプターが抜けていませんか？
	カメラの電源ランプは点灯していますか？
	カメラと液晶モニターの電波状態が悪くありませんか？
	カメラが登録されていないカメラ番号を選択していませんか？

仕　様

無線通信部

項目	規格
通信方式 / 変調方式	2.4GHz GFSK/FHSS
データレート	6Mbps
映像方式	H.264
見通し通信距離	最大 300 m (遮蔽物や妨害電波のない環境での通信可能距離) (➡ 6 ページ)

カメラ

●WSS1C

項目	規格	
画素数	200 万画素 (H:1920 V:1080 ピクセル)	
イメージセンサー	1/2.9 インチ CMOS センサー	
撮影距離	1.5m ～ ピントの合う範囲まで	
視野角	左右 90° / 上下 50°	
動作検知距離 / 角度	最大約 7 m /80°	
センサーライト	白色 LED	500(全光束)lm
	白色 LED 光量調整	4 段階 (25/50/75/100%)
	点灯モード	手動 / 動体検知 (点灯時間：オフ/1分/3分/5分)
赤外線投光距離	15 m	
最低被写体照度	IR LED 点灯時：0	
防雨・気密性	IP66	
スピーカー	1 個	
消費電力（白色 LED 点灯時）	最大 13.5W（DC9V/1500mA）	
内蔵マイク	1 個	
使用温度範囲	-10 ～ +50℃	
外形寸法	W73 × H73 × D223.3mm（アンテナ部を除く）	
質量	約 560g	

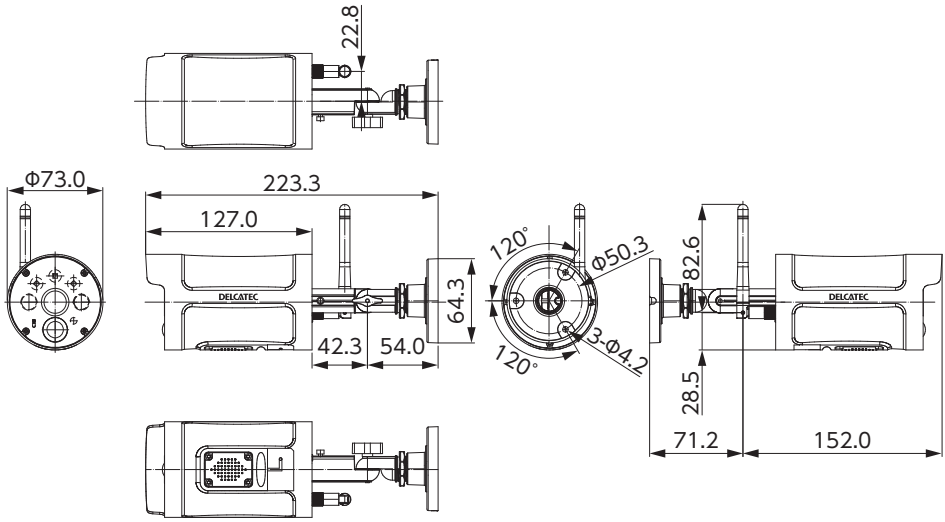
●WSS2C

項目	規格
画素数	200 万画素 (H:1920 V:1080 ピクセル)
イメージセンサー	1/2.9 インチ CMOS センサー
撮影距離	約 1.5m ～ ピントの合う範囲まで
視野角	左右 90˚ / 上下 50˚
動作検知距離 / 角度	最大約 7 m /80˚
赤外線投光距離	10 m
最低被写体照度	IR LED 点灯時：0
防雨・気密性	IP66
消費電力	最大 5.3W（DC9V/580mA）
内蔵マイク	１個
使用温度範囲	-10 ～ +50℃
外形寸法	W64.3 × H64.3 × D228.4mm（アンテナ部を除く）
質量	約 460g

仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

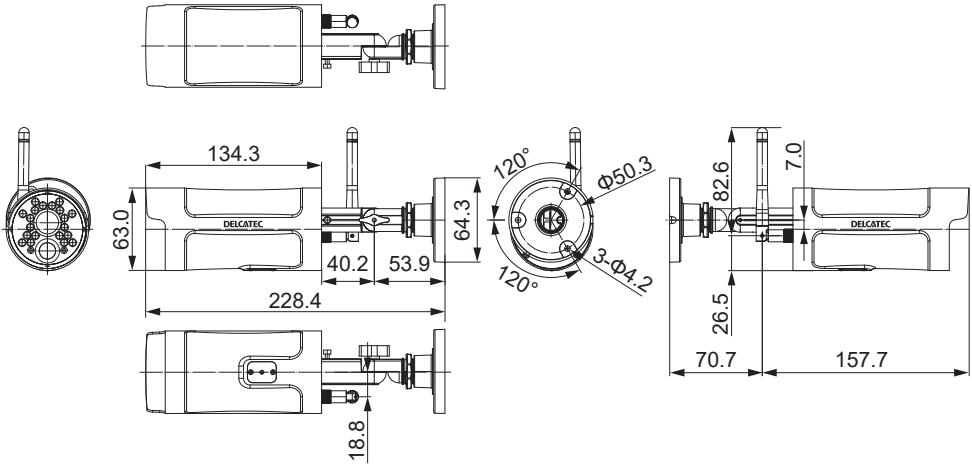
外形寸法図

●WSS1C



単位：mm

●WSS2C



単位：mm

※本製品を廃棄するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

MEMO

MEMO

MEMO

製品に関する
お困りごとを解決！

Dサポ！

DXアンテナ サポートポータル

スマートフォンで
各種設定方法が
わかる➡

ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
QRコードからアクセスしてください。

[1015]

保　証　書

型　番

WSS1C / WSS2C

ご販売店	ご住所・ご店名 電話（　　）　　－
お客様 お名前	ふりがな 様
お客様 ご住所	□□□-□□□□　電話（　　）　－

お買上年月日	保証期間	お買上日から
年　　月　　日		1　年　間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。（消耗部品は除く）
したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合せください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷。④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。⑤用途以外（例えば車両、船舶への搭載など）に使用された場合の故障および損傷。⑥本保証書を提示・添付されていない場合。⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。（This Warranty is valid only in Japan.）
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター

土・日・祝日もご利用ください！

ナビダイヤル 0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1908)

DXアンテナ株式会社

■受付時間 9:30～17:00　夏季・年末年始休暇は除く）
■一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合: 050-3818-9016

ホームページアドレス
https://www.dxantenna.co.jp/

6013-2

408-000896-01